

区分		H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	②修繕費	5,360,829	6,208,023	6,915,134		
	③光熱水費					
	④燃料費	266,594	393,301	380,455		
	⑤清掃費					
	⑥保守点検費					
	⑦その他(施設消耗品)	4,728,148	2,507,740	2,507,740		原材料費
	⑧印刷費	819,000	587,480			
	⑨修繕費	1,677,375	1,345,920			
	⑩保守点検費	3,990,168	3,924,900	4,000,000		車輛(温泉バス)
	⑪借上料	204,517	185,921			
	⑫光熱水費	30,302,763	32,801,791	41,728,936		23(重油代含む)
	⑬燃料費	9,451,628	10,546,043			23(光熱水費へ)
	⑭入湯税	22,036,000	22,153,500	24,573,266		24(消費税含む)
	⑮基金積立金	24,393	6,847			
	⑯その他	170,900	60,581			
	計	95,197,515	96,229,230	94,320,220	0	
対前年度増減率		1.1	△ 2.0			
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)		174,832,744	173,851,983	171,464,840	0	
(4)合計のうち運営コストの割合		45.5	44.6	45.0		
(5)施設の収入 ※1)下記3)に入力する		112,558,590	109,249,630	105,786,310		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合		141.3	140.7	137.1		

※黄色は掛川市負担分

3 施設管理料又は歳入情報 注)【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H21決算額	H22決算額	H23決算額	備考
a) 施設使用料収入	112,558,590	109,249,630		※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	106,156,000	102,239,000		
a)-b)	6,402,590	7,010,630	0	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H21決算額	H22決算額	H23決算額	備考
a) 施設利用料金収入			105,786,310	
b) 指定管理料			55,140,000	
c) 指定事業収入				
d) 自主事業収入				
e) その他収入			8,725,493	エステ等使用料・飲食収益等
合計	0	0	169,651,803	

4 施設の評価

評価内容	評価のポイント	H23年度の結果	今後の改善策
(1) 施設設置目的の達成度	①施設設置目的に沿った運営が行われているか ②住民サービスの向上が図られているか ③施設設置目的の達成に貢献するような運営がなされているか	・水中機能改善教室 毎週木曜日 (参加者273人) ・アクア教室 毎週木曜日 (参加者197人) ・グランドゴルフ大会 年間4回 (参加者 約1,200人) ・グランドゴルフ利用者 (年間 約6,000人) ・入浴プログラム	温泉施設と飲食物販部門の連携を強化し、グランドゴルフ施設の環境が優れていることから、他の温泉施設との差別化・独自ブランド化を図ることが必要。
(2) 利用者満足度	①利用者満足度調査(アンケート)を実施し、結果の検討をしているか ②利用者数は増えているか ③特定地域の住民や特定団体だけでなく、広く市民に利用されているか	・平成20年度から入館料の改定し(950円→500円)した。年度半ばまでは震災の影響(津波、原発等)があり入館者が減少したが、徐々に回復傾向にある。利用者アンケートでは高い満足度を示す結果を得られた。	温泉施設の年間利用者数は、ほぼピークに達しており、入浴以外の魅力を創出していく必要がある。
(3) 効率的な運営	①管理運営費の算出根拠は妥当か ②管理運営費の削減は図られているか ③収支バランスは改善されているか ④利用料金制度の導入又は民間等への移行を検討しているか ※「利用料金制度」とは、条例で定める施設の利用料金の範囲内で、指定管理者の収入として収受させることができる制度。	H23年度利用料金制に移行したことにより、効率的な運営に努めた。	H23年度利用料金制度に移行したことにより、効率的な運営に努めた。

(4) 施設の将来性及び統廃合の可否	①今後も市民ニーズに応えられ、高い費用対効果が見込めるか ②市内の類似施設との統廃合により機能等の集約は可能か		平成10年の開設から15年経過し、源泉ポンプ制御盤等、根本的な修繕を必要とする劣化が多数ある。
(5) その他の課題等	①指定管理者の収入を増やすための工夫が行われているか ②設備の維持管理等に関して問題はないか	プール利用者は限られており、維持費・人件費等の面では収益率は低い。	

5 その他自由意見